



秋。クマから身を守る基本



実りの秋、食欲の秋…。クマは、冬眠を前に餌を求めて活発に活動します。

県内の山はクマの生息地ですから、どこの山でもクマと出遭う可能性があります。

クマによる人身被害を防ぐには、「クマと遭わない」「クマを引き寄せない」ことが基本的な対策です。それでも出遭ってしまったら、「興奮しない、させない」ことが重要です。

「クマと遭わない」ために

◆クマの餌が実るところには行かない

ドングリやクリ、ヤマブドウなどが実る林、集落内のカキやイチョウの木がある場所に注意。

◆頻繁に物音や声を出して歩く

鈴や笛、ラジオなどを鳴らすか、大きめの声で話しながら歩く。

◆クマに人の存在を知らせてから外に出る

家の周りにクマがいる場合があるので、外出前は、鈴や笛、大声などで人の存在を知らせる。

◆暗い時間や見通しの悪い時は外出しない

特に川沿いや山林から近い集落では、早朝・夕方・夜間や霧で視界の悪い時の散歩やジョキングを控える。

「クマを引き寄せない」ために

◆人家のまわりにクマの餌になるものを放置しない！

生ゴミやコンポスト、米ぬか、機械油などを放置しない。墓の供物は持ち帰る。

ハチの巣は撤去する。

◆人家の周りの果樹は早めに収穫・伐採する！

カキやクリは早めに収穫する。収穫できない果樹は伐採するか、枝を落として低く管理する。

◆刈り払い等により集落周辺からクマの潜み場をなくす

クマが身を隠せる藪は刈り払い、倉庫・物置等の窓や入り口はしっかり閉める。

クマに遭ってしまったら「興奮しない・させない」

◆とにかく騒がずゆっくり後ずさり！

背中を見せて走って逃げてはいけません！子グマであっても絶対近づかない。

襲われそうになった場合はクマ撃退スプレー（強力な唐辛子スプレー）が有効です。

◆攻撃が避けられないときは急所を守る！

地面に伏せ、両手やリュックなどで首の後ろをガードして頭と首を守る。